

TIC NEWS

vol. **132**
2019.7

(公財)とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F(タワー111)

TEL(076)444-2500

FAX(076)444-2600

E-mail:tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>

富山県外国人ワンストップ相談センター 開所式



富山県外国人ワンストップ相談センター開所！

令和元年6月18日、インテックビル4階の(公財)とやま国際センター内に「富山県外国人ワンストップ相談センター」が開所しました。

ナマステ インディア

日時：毎週第2・第4月曜日 18:30～20:30

場所：(公財)とやま国際センター 談話室

インド出身の国際交流員ダーサリ・ラメッシュさんが毎回様々なテーマでインド文化を英語で皆さんにご紹介するとともに、そのテーマについて参加者みんなで英語でおしゃべりしています。インド文化に理解を深めて、さらに英語力も鍛えようというこの企画。毎回、和気あいあいとした雰囲気盛りが上がっています。

4月はヨガ、5月はハリウッドダンスがテーマ。ハリウッドダンスでは、ラメッシュさん直伝の独特の首振りの動きをマスターしようと、参加者の皆さんは悪戦苦闘しながらも楽しんでいました。

今後の予定

7月8日(月)、22日(月) インド旅行

8月5日(月)、26日(月) インド占星術

9月9日(月)、30日(月) インドの結婚



みんなで英語でおしゃべりしましょう!

語学講座が開講しました!

日時：各曜日18:30～20:00 年間30回

場所：(公財)とやま国際センター 研修室

5月20日から開講した語学講座。例年の中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語に加えて、今年度からは英語講座も開講し、みんなで126名の方が受講されています。ネイティブの講師から学べるのが、この講座の魅力。これからでもお申込みが可能な講座がありますので、お問合せ下さい。皆様の参加をお待ちしています!

講座名	開催期間	曜日	定員
英語(初級)	5/22～3/4	水	40名
中国語(入門)	5/20～3/2	月	30名
中国語(初級)	5/23～3/5	木	30名
中国語(中級)	5/21～3/3	火	30名
韓国語(入門)	5/23～3/5	木	40名
韓国語(初級)	5/20～3/2	月	40名
ロシア語(入門)	5/21～3/3	火	15名
ポルトガル語(初級)	5/22～3/4	水	15名

今年度新たに語学講座を担当する講師から一言です!



韓先生(中国語中級)

教科書の内容はもちろん、場面別会話の練習や、流行語、身近な話題などを巡って、まるで中国にいるかのように、中国語で盛り上がっています。私たちの新しい仲間になってみませんか。

中国語初級講座を担当している国際交流員の斉東亮です。講座であり、交流の場です。私と、楽しい仲間たちと一緒に、中国語学習を楽しみながら、ステップアップしていきましょう。とやま国際センターでお待ちしております。



斉先生(中国語初級)



グラセ先生(英語初級)

基礎的な会話を練習しながら、今の英語に触れてみませんか? 「昔、英語を勉強したけど、もう一度英語を勉強してみたい」というあなたのために、この講座を開催しています。ペアワーク中心で会話をして、英語で話す自信をつけましょう! 皆さんの参加をお待ちしています!

国際交流員より着任のご挨拶！

さい とうりょう 齊 東亮 さん（中国）

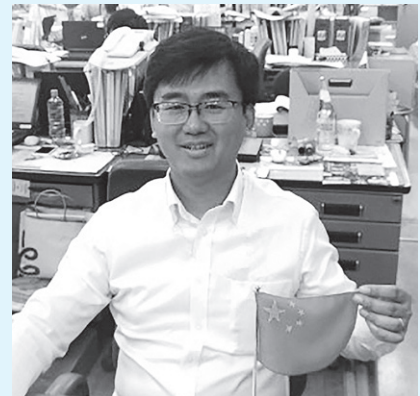
富山県の皆さま、こんにちは。中国遼寧省瀋陽市より参りました齊東亮と申します。初めまして、どうぞ宜しくお願いします。

私は中学一年生から父の影響により日本語を習い始め、高校卒業後、日本留学に参りました。京都大学に6年間在学した後、一般企業に勤めました。帰国後、日本での経験を活かし、日中間における経済貿易関連の仕事に携わってきました。

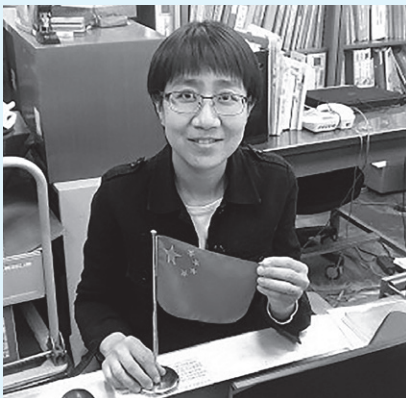
富山県は日中友好に生涯を捧げられた故松村謙三先生のふるさとであり、とりわけ富山県と遼寧省は、1984年に友好県省を締結して以来、相互のたゆまぬ努力と変わることのない友情に支えられ、人材育成、経済、文化、環境など幅広い分野で活発な交流を展開してきました。この度、国際交流員として富山県で働くことができ、大変光栄に思います。

富山県に初めて参りましたが、すべてが“きときと”です。急峻な山々に囲まれ、海に面し、天然の生け簀である深い富山湾を有し、古き良き伝統文化を保ちつつ、近代的産業発展の道を切り拓いてきた、農業、漁業、工業等ありとあらゆる産業が優れている富山県に無限の魅力を感じてやみません。

一年間の短い間ですが、少しでも多く富山県の魅力に触れていき、その魅力を、より多くの人に発信していきたいと思います。また、出身地である遼寧省のことも、少しずつ富山県の方々にお伝えできればと思います。



かん ひょう 韓 冰 さん（中国）



大家好（ダージャー・ハオー）！皆さん、こんにちは。今年4月から着任した中国上海からの国際交流員韓冰（カン ヒョウ）です。中国で上海電気学院の教師をしており、全校学生を対象に第二外国語としての日本語を教えていました。

私は6年間の日本留学の経験があり、修士、博士課程で経済や金融について研究しました。日本のいろいろな所へ旅行に行ったり、たくさんの方々と出会ったりして、多彩な日本文化に触れることができました。今回、12年ぶりに日本にもどり、富山県で国際交流員として一年間務めさせていただくことになり、とてもうれしく存じます。

国際交流員として、週4回は県庁の国際課で、週1回はとやま国際センター（TIC）で勤務しています。主な業務内容は翻訳と翻訳文のネイティブチェック、中国からの訪問団の通訳ですが、そのほかに県職員や県民向けの中国語講座や、TICの情報誌やメールマガジンの翻訳、出前講座で学校訪問、JET世界まつりの参加などです。

富山の方言「きときと」は「新鮮」という意味だそうです。新鮮な空気、新鮮な水、新鮮な魚、また「きときと」は「新しい」という意味も含んでいると思います。今年は新たな年号「令和」が始まった年で、また中日青少年交流推進年にもあたる年です。こんな新しい年に国際交流員として富山に来ることができる私はとてもラッキーです。富山県の魅力を上海の人々に紹介して、お互いの理解を深めるよう努めます。だんだんと忘れかけていた日本語を取り戻しながら、微力ながら、中日友好交流のかけ橋として全力を尽くしていきたいです。私も気持ち新たに「フレッシュ女子」を目指して、仕事を頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

富山県外国人ワンストップ相談センター開所！

とやま国際センター内に、県内に在住する外国人住民に一元的に情報提供や相談を行う「富山県外国人ワンストップ相談センター」がオープンしました。

富山県内に在住する外国人住民は昨年度から1,625人増え1万8千人を超え5年連続増、県人口比は1.72%となり過去最高となっています。

外国人住民の方にとって、より暮らしやすい富山県を実現できるよう、相談業務の充実に取り組んでいきます。



富山県在住の外国人の状況をみると、平成30年末時点での外国人住民数は18,262人。国籍別ではベトナム人の伸びが目立っており、平成29年末の2,881人に対して1,181人増えて平成30年末は4,062人となっており、中国人5,001人に次ぎ、二番目に多くなっています。

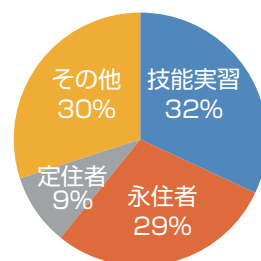
在留資格別にみると、富山県で一番多いのは「技能実習」の32%で、続いて永住者が29%となっています。一方、全国の統計では永住者の割合が一番高く

28%。続いて留学生が12%になります。このように、第2次産業のウェイトが高い“ものづくり県”富山の特徴がみられます。

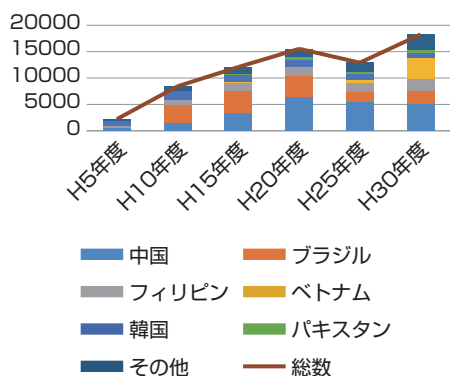
また国籍が多様化している傾向があり、平成30年末には92か国に及ぶ国籍の人が富山に滞在しています。

新しく立ち上げる富山県外国人ワンストップ相談センターでは、母国語での相談も行い、労働、教育、医療等様々な現場における外国人住民に関わる問題について相談に対応します。相談員の対応できない言語についてはタブレット、翻訳機等を用いた対応も準備していますので、是非お問合せ下さい。

在留資格別外国人住民の状況（富山県H30年度）



富山県在住外国人住民の状況（国籍別）



相談コーディネーターからご挨拶

相談コーディネーター 清水 文代

新たな在留資格「特定技能」を新設する改正入管難民法等が2019年4月1日から施行され、人材不足が深刻な14業種を対象に一定の技能と日本語能力のある外国人に日本での就労が認められることになりました。

富山県においても、今まで以上に多くの外国の方々が各地域の企業で働き、コミュニティーの一員となります。日本にやってくる人達は、家族や友人としばしの別れを告げ、日本の技術を身につけたいという熱い希望をいだいている若者たちです。

私は、外国に住んだことがありませんので、彼らの気持ちを真に理解することはできないかもしれませんが、彼らは希望を持っているだけではなく、多くの不安も抱えているのではないのでしょうか。私は田舎で育ち、小さい頃は私の母が作った煮物を近所の家に持っていったり、野菜がたくさんとれたからと近所からいただいたりしていました。少しだけ隣の人を気に掛ける習慣は、住みやすさを生む大きな安心感につながっていると感じています。

今回、富山県外国人ワンストップ相談センターを開設するに際して、外国の方々に寄り添い、「ちょっとした気遣い」で安心して生活していただける場の提供ができるよう努めてまいりたいと考えております。

富山県知事 石井 隆一



皆様には、日頃から県の国際協力事業に格別のご理解、ご協力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、今年4月1日の改正入管難民法等の施行により、新たな在留資格「特定技能」が創設され、人材が不足している14業種において、今後5年間に最大約34万5千人の受入れが見込まれております。

本県在住の外国人につきましても、過去最高の18,262人となっており、なかでもベトナム人の増加が顕著であります。引き続き、多くの外国人の方に富山県にいただき、かつご活躍いただくとともに、地域社会と連携しながら共生していけるよう、このたび「富山県外国人ワンストップ相談センター」を開設し、英語、中国語、ポルトガル語の相談員を常駐させるとともに、この8月からはベトナム語での対応も予定しております。また、相談コーディネーターも配置し、在留資格や子どもの教育等に関する相談等に一元的に対応してまいります。

現在、全国同様、富山県においても産業界を中心に「仕事はあるが人がいない」という問題があり、多くの経営者の課題となっております。今後、多くの優秀な外国人の方に富山県に来ていただき、地域社会に根付いていただくことで、県民の皆様にも多文化共生の素晴らしさを感じていただけることを願っております。

県としましては、今後とも、在住外国人の皆様が安心して生活できるよう全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(公財)とやま国際センター

代表理事 麦野 英順



皆様には、日頃から当財団の運営に関し、ご理解、ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

とやま国際センターは県民総参加の国際交流を展開し、富山県の国際化を推進する中核的な組織として昭和59年に設立されました。この間、行政機関や民間団体、県民との橋渡し役として、様々な国際交流、国際協力、多文化共生事業を展開しております。

この度、改正入管難民法等の施行や、今後、益々増加する外国人への支援が必要となることから、「富山県外国人ワンストップ相談センター」を開設することとなりました。

この相談センターでは、外国人が日常生活等に関することで悩みをお持ちになった場合に、相談員が多言語でお話をお聞きし、関係機関と連携を図りながら、その解決に向けて丁寧に対応することとしております。今後、外国人と地域住民がお互いの文化や価値観を尊重し合いながら、ともに安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現に向けて、本センターが、外国人はもとより、県民から大いに頼りにされるよう、より一層努力を重ねてまいります。

むすびに、本センターの設置にご尽力いただいた石井富山県知事様をはじめ富山県、関係機関の皆様にも深く感謝申し上げますとともに、本センターに対して、今後より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

富山県外国人ワンストップ相談センター スケジュール

	月	火	水	木	金
英 語	9:00~16:00				
中国語	9:00~16:00				
ポルトガル語	9:00~16:00				
韓国語	13:00~16:00	—	—	—	—
ロシア語	—	13:00~16:00	—	—	—
テルグ語	13:00~16:00				

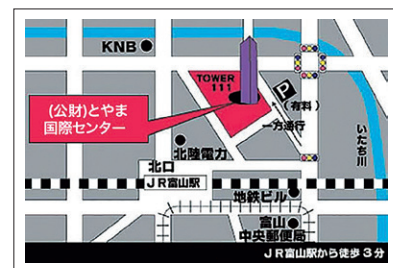
※上記以外の言語はタブレット等を使って対応します。またベトナム語の対応については8月頃から予定しています。

場所：富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

時間：月～金曜日（祝日を除く） 9:00～16:00

TEL：076-441-6330（生活相談）

076-441-5654（電話通訳サポート）



“いつか世界を変える力になる”
～世界を変えてきたのは、いつの時代も、たったひとりの強い想いだ～

2019年度JICA海外協力隊秋募集が始まります！

募集期間：2019年8月20日(火)～9月29日(日)
(要請公開：2019年8月8日(木)予定)

JICA海外協力隊とは、開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、技術や経験を生かして人々の自助努力を促進させる形で活動を展開していく海外での協力活動です。

※詳細については、ウェブサイトをご覧ください。

応募は原則ウェブ応募です。募集要項に加え、説明会キャラバン、WEB説明会、OB/OGのビデオ相談、活動体験談等の案内が掲載されています。

職種 計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野

☆富山県デスクでは、個別相談を受け付けています。(9:00～17:45)

来訪の際は、事前にお問い合わせください。



【応募に関するお問い合わせ・相談窓口】

* JICA北陸 富山県デスク (担当：吉田)

〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5 インテックビル4F (公財)とやま国際センター内

Tel：076-464-6491 / E-mail：jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp

* JICA海外協力隊ウェブサイト：<https://www.jica.go.jp/volunteer/>



今回はペルーから届いた青年海外協力隊員 安念 幸恵 さんからのお便りをご紹介します。

2018年7月にペルーへ、バドミントンの指導で派遣されました。ペルーは南半球にあり日本との時差は14時間、季節も時間も真逆です。ペルーには、10万人の日系人がいると言われ、日本の文化に触れる機会も多々あります。特に今年は日本人が移住して120周年を迎え、通常とは違うイベントや機会に触れることができ、貴重な経験をさせてもらっています。

現在、私はナショナルチームの成人選手、ジュニア選手、障害者選手の3種のカテゴリーの指導者として活動しています。今年はペルーの首都であるリマで、アメリカ大陸大会が7月下旬から開催され、代表選手のメダル獲得に期待がかかり、選手と私たち指導者も入賞を目指し、毎日、頑張っています。また、来年の東京パラリンピック出場が有力な選手もいます。オリンピックの始まる頃には任期も終了し日本に帰国していますが、彼らがオリンピックに出場することができて、日本で再会できるよう残りの任期にできる限りの支援を行いたいと思います。



安念 幸恵さん (前列右から2人目)

派遣国：ペルー

職種：バドミントン

派遣期間：2018年7月～2020年7月

配属先：体育庁バドミントン連盟

エベルリン・ファビオ さん

(フランススコ・アンツネス・フィリョ州立校 教師)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 数学の教師として公立学校で働いています。今年7年生(日本の中学一年生)と8年生(中学二年生)の生徒に教えています。あいにく帰国して以来、日本人と交流や仕事をする機会がありませんでしたが、高岡市立野村小学校で学んだものを僕の日々の仕事に生かしています。

数学は世界中同じと思われがちですが、教え方や使われる式に異なるところがたくさんあります。ブラジルの生徒たちに別の割り算の方法を教えるとびっくりされました。授業中に、野村小学校と本校の違うところをいつも尋ねてくる生徒もいますので嬉しいです。実は帰国して以来、数学の教え方がとても変わりました。

Q. 近況について教えてください。

A. ブラジルのサンパウロ市の郊外にあるグアルーリョスという所に住んでいます。南米で最も大きい国際空港の近くに住んでいますので外国人に出会うことが珍しくないです。そんな賑やかそうに思われる場所に住んでいます。意外に静かな所です。母と二人きりで暮らしていて二匹の猫を飼っています。職場の近くに住んでいるので、バスや電車で通勤する必要がありません。毎週土曜日、野球をしてから日本語を勉強します。実は自分の日本語能力が鈍くなった気がしていますが、よく使えばだんだん上達するはずだと思います。日本に住んでいた六か月間以外はこの場所にずっと住んでいました。でも日本に住んで以来、世界のあちらこちらに行きたくなりました！

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 研修に参加する前は富山のことは知りませんでしたが、富山を知ることができて嬉しいです。2018年の六月下旬から富山が僕の住む場所となりました。野村小学校で研修したり、少年野球の手伝いをしたり、他の研修員や国際センターの方々と遊びに行ったりしたことは一生忘れることができません。富山でできた友達と時々話します。少年野球の方、ホストファミリーの方々です。今、富山でのことを思い出すと、まるで自分の“ふるさと”かのように懐かしさが出てきます。



Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 僕は日系人ではないですが、富山に行って少しだけ日本人になってしまったのではないかと思います。野村小学校の先生方、野村の地域の方々、国際センターのスタッフ、友達になった方々、全員のおかげで五か月間を無事に過ごすことができました。富山ははるか遠いですが、いつかもう一度会える機会があるということを強く信じています。それまでの間、皆様が幸福でいらっしゃるようお祈りいたします。

令和元年度前期草の根国際活動助成団体決定！！

とやま国際センターでは、県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対して助成をしています。令和元年度前期助成団体は以下の団体に決定しました。

団 体 名	事 業 名
高岡ポルトガル語講師会	おとぎの森学習支援教室
富山日越交流会	ベトナム人親子の居場所作り

Bún chả ブンチャー

ブンチャーとは、“ブン”と呼ばれる米粉で作られた麺をヌクナムベースのスープにつけて食べる日本で言う「つけ麺」のようなものです。スープが甘酸っぱいので最初は少し驚くかもしれませんが、とっても美味しいんです♪ 中には炭火で焼いた香ばしい香りが食欲を誘う豚肉が入っていて、そこに麺と香草をつけていただきます。



～作り方～

- 1.ブン ゴー (bun kho) をゆでる。熱湯で5分ゆで、冷水でしめて水を切っておく
- 2.の全ての材料を全部混ぜておく

《串焼き》

- ・ボールに2/3の量のみじん切りした玉ねぎと調味料を薄切り豚肉に入れ、よく混ぜてから10分置く。
- ・10分後、肉を一枚ずつ巻いてから串で肉の真ん中に刺し、オーブンでこんがり焼く

《ハンバーグ》

- ・串焼きを調理した際のボールに豚ひき肉を入れ、残り1/3の量の玉ねぎと調味料をよく混ぜ10分くらい置く。
 - ・10分後、3センチくらいのミニハンバーグを作り、両面こんがり焼く。
- ※食べやすい大きさに切ったレタスなどの菜っ葉、薄切りキュウリ、大葉等の野菜とブンをタレに付けながら食べると美味しいです。



～材料～

- 1.ブン(bun) ブン ゴー(米麺)…… 100g
- 2.つけタレ
お酢……………大さじ2
ヌックマーム(ナンプレー) ……大さじ2
砂糖……………大さじ2
ニンニク(みじん切り) ……2かけ
唐辛子……………小さじ1
水……………200ml
大根(5mm厚のイチョウ切り) ……200g
人参(5mm厚のイチョウ切り) ……100g
※炒ったピーナッツを入れても美味しい。
- 3.串焼き・ハンバーグ
薄切り豚肉……………100g
豚ひき肉……………50g
塩コショウ……………小さじ1
ヌックマーム(ナンプレー) ……大さじ1/2
玉ねぎ(みじん切り)……………1/6個
※シャロットがあればシャロットのほうがよい。

TICからのお知らせ

これからの行事予定

災害時外国人支援防災訓練事業

- (1)やさしい日本語研修
7月6日(土) 14:00～15:30
黒部市国際文化センター 会議室
- (2)多言語翻訳研修
7月20日(土) 14:00～15:30
黒部市国際文化センター 創作室
- (3)広域連携による災害時外国人支援ボランティア研修
7月27日(土) 10:00～16:00
石川県
- (4)市町村担当者向け災害時外国人支援基礎研修
8月9日(金) 13:30～16:30
富山県民会館 702号室
- (5)富山県総合防災訓練への参加
9月29日(日) 10:00～11:30
黒部市総合体育館

とやま国際塾

7月14日(日)～15日(月・祝)
富山県呉羽青少年自然の家 *高校生対象

外国人のための日本語ボランティア養成講座

【砺波会場】

9/21、10/5、10/19、11/2、11/23
10:00～12:00
土曜日 全5回 砺波市文化会館

【入善会場】

9/28、10/12、10/26、11/9、11/30
10:00～12:00
土曜日 全5回 入善町中央公民館

日本海学講座

7月6日(土) 14:00～15:30 県民会館401号室
“北陸の工芸さまざま” 一新潟・富山・石川・福井ー
講師：日本大学芸術学部美術学科
教授 大熊 敏之 氏

8月31日(土) 14:00～15:30 県民会館401号室
“近代日本における日本海沿岸地域の
産業化と日本海海運”

講師：慶應義塾大学
教授 中西 聡 氏

富山湾の魅力体験親子教室

8月3日(土)、8月4日(日) 富山湾
小学生・中学生の親子20組

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及びご寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るためのご寄付についてもよろしくお願い申し上げます。ご協力頂ける方は、是非センターまでご連絡ください。